

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 023	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 オリーブの実を使った加工品の開発支援	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 湘南オリーブ振興協議会では、平成26年度からオリーブの普及推進を行っている。オリーブの実も取れ始める時期をむかえ、その利用拡大を図っていくにあたり、昨年からは、地元の食品業者に新漬けの加工委託をはじめている。 しかし、加工委託にまわせないオリーブの実の有効利用を図るために、生産者自らが取り扱いしやすいオリーブの渋みの取り方を検討願いたい。また、商品開発（ピクルス、砂糖漬けなど）に向けたオリーブの実の活用の仕方について要望する。 ・平成29年5月時点のオリーブ栽培状況 約5500本 11ヘクタール	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部品質機能研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) かながわ特産品を活用した6次産業化への取組を支援する技術開発		
対応の内容等	オリーブのアク抜きについては、現在水酸化ナトリウムを使用した方法が主流です。これは強アルカリ性のため取り扱いに厳重な注意が必要です。農業生産者等の小規模加工場でも扱える、簡易なアク抜き法の検討を行います。 また、商品開発については、生産現場の要望を把握してオープンラボラトリーを利用した共同開発で対応させていただきます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			